

## 賛助会員

北海道栽培漁業振興公社 (〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目北海道第二水産ビル4階)

阿寒観光汽船株式会社 (〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉1-5)

全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (〒273-0017 千葉県船橋市西浦3-2-2)

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保1769)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜市曙町4-15)

(有) 祐千堂葛西 (〒038-3662 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井38-1)

株式会社ナボカルコスメティックス (〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-7)

日本製薬株式会社ライフテック部 (〒598-8558 大阪府泉佐野市住吉町26)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目28 札幌エルプラザ11階)

総合科学株式会社 (〒540-0024 大阪市中央区南新町1-4-8)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町1-3-5)

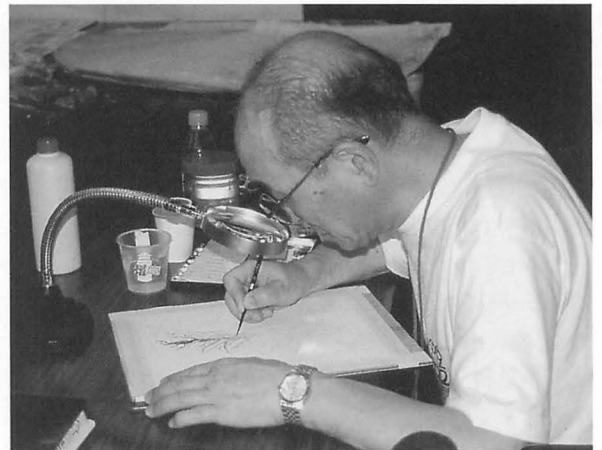
(株) 日本港湾コンサルタント (〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通3-1-2 第三建大ビル10階)

### 表紙写真の説明

作品名:「クシベニヒバ」

制作者:川嶋昭二(函館市)

解説:植物画家としても著名な川嶋先生から水彩画「クシベニヒバ」の原画をお借りした。表表紙に藻体全形、裏表紙に四分孢子囊を描いた作品を使わせていただいた。以下は作者による解説:クシベニヒバ *Ptilota filicina* J. Ag. は北太平洋一帯に広く分布する紅藻類イギス科の海藻で、我が国では北海道全沿岸と本州北部の太平洋沿岸の潮間帯下部付近で見ることができる。大きさは15-30 cmほどで、小さな盤状の附着器から短い幹が立ち上がり、数本のやや扁平した主枝に分かれ、さらに順次その各部から枝を出す。枝の出方はすべて平面的である。本種のもっとも大きな特徴は、それらの各枝から対生的に出る繊細な羽枝であって、その一方は縁辺が櫛歯状の単条の有限枝であるのに対して、他方はさらに羽状に枝分かれして伸長する無限枝であり、そのうえ両者が枝の左右を規則正しく交互に入れ変わることである。このような繊細な羽枝を持つ紅色の海藻は海藻画の対象としても最適で、平面的な枝の出方や、対生する羽枝の構造の違いと配列の規則性にさえ注意すれば、後は根気と筆さばき、それに色の濃淡によるちょっとした立体感の表現力で傑作が描ける。また、最近



「紅藻ムカデノリ」を制作する川嶋先生(2002年7月22日につくば市で開催された国際大会 Algae 2002の会場にて)。

北海道でも盛んな生の海藻を用いた「海藻おしば」作りでも、その繊細な枝ぶりや色彩が人気を呼んで、しばしばおしば作りの手を休めて造化の妙に浸る市民をみかけるようになってきたのは嬉しいことである。(川嶋昭二)

Front and back cover photos: "Kushi-benihiba, *Ptilota filicina* J. Agardh (Rhodophyceae)", watercolors of the beautiful alga showing the habit of a sterile plant (front cover) and the detail of a tetrasporic pinna (back cover).

癒しを育てる

# ぷちも

特許技術によって創り出された小さな海藻「ぷちも」。瓶の中でゆっくりと育てて大きくなります。沖縄で好評発売中。

(特許番号第3072469・3828359号)

アメ瓶タイプ・・・インテリアにぴったり  
ミニタイプ・・・携帯に便利な紐付き小瓶  
専用培養海水・・・交換用の肥料入り海水

ぷちもの種類

ペルツーサ・・・*Ulva pertusa*

リンザ・・・*Ulva linza*

ヤポニカ・・・*Umbraulva japonica*



株式会社 嶋活

●お問い合わせ● 〒900-0029 沖縄県那覇市旭町45-1 TEL (098)862-8950 FAX (098)866-9250  
<http://www.shimaKatsu.co.jp> [info@shimakatsu.co.jp](mailto:info@shimakatsu.co.jp)

## 海産微細藻類用培地

<特徴>

- ◎ 多彩な微細藻類に使用できる。
- ◎ 手軽に使用できるので、時間と労力の節約。
- ◎ 安定した性能。
- ◎ 高い増殖。
- ◎ 精製水に溶かすだけで、手軽に使用できる。

IMK 培地  
は、多種多様な微細藻類に使用可能な培地です。人工海水 SP は、海水の成分が自然に近い形で混合されており、精製水に溶かすだけで使用できます。

### ダイゴ IMK 培地

100 L 用× 10      398-01333  
1000 L 用× 1      392-01331

微細藻類に共通して使える培地です。  
生育に必要な成分が含まれています。

### ダイゴ人工海水 SP

1 L 用× 10      395-01343

海水 SP の成分が自然に近い形で混合されています。

お客様のご要望に応じた培地も特注でお受け致します。

製造 日本製薬株式会社 ライフテック部  
大阪府泉佐野市住吉町2 6 番  
〒598-8558 TEL 072-469-4622

販売 和光純薬工業株式会社  
大阪市中央区道修町三丁目1 番2 号  
〒541-0045 TEL 06-6203-3741  
東京都中央区日本橋四丁目5 番1 3 号  
〒103-0023 TEL 03-3270-8571

URL <http://www.nihon-pharm.co.jp/lifetech/>

HITACHI

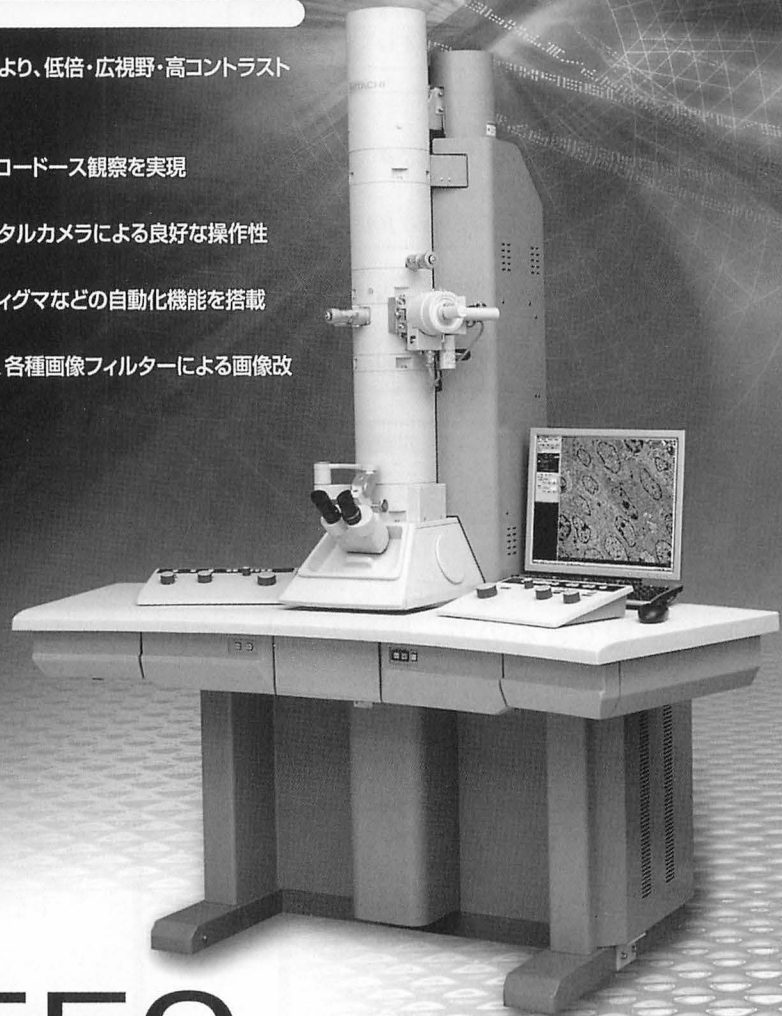
日立ハイテク

## 電子顕微鏡本体と高感度デジタル\*カメラの 一体化により、快適な操作環境を提供。

\*感度:対写真フィルム比・約40倍、対AMT社製HRカメラ比・約10倍

### 特長

- ① 日立独自の複合対物レンズにより、低倍・広視野・高コントラストな観察が可能
- ② 高感度デジタルカメラによるロードス観察を実現
- ③ 本体と一体化制御されたデジタルカメラによる良好な操作性
- ④ オートフォーカス・オートスティグマなどの自動化機能を搭載
- ⑤ データベース機能、測長機能、各種画像フィルターによる画像改善などの豊富な機能を搭載



日立電子顕微鏡

# H-7650

株式会社日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン (03) 3504-6111  
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL <http://www.hitachi-hitec.com/em/>

北海道(札幌) (011) 707-3200 東北(仙台) (022) 264-2218 筑波(土浦) (029) 825-4811 中部(名古屋) (052) 219-1670 関西(大阪) (06) 4807-2552  
四国(高松) (087) 825-9977 中国(広島) (082) 221-4514 九州(福岡) (092) 721-3517 沖縄 (098) 863-8295

## 事業所のご案内



### ISEBU Service Station

お客様の多様な印刷・出版ニーズに迅速で  
きめ細かいサービスを提供する営業  
センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保2-11-20  
Tel.029-851-2515 Fax.029-852-8501  
ss@isebu.co.jp  
営業時間:9:00~17:30



### ISEBU Printing Station

最新鋭のデジタルワークフローでデザイン・  
編集から印刷・製本までの一貫生産を行う  
印刷工場

〒305-0812 茨城県つくば市東平塚389  
Tel.029-856-4166 Fax.029-856-4147  
ps@isebu.co.jp  
営業時間:9:00~17:30



### ISEBU Digital Station

「必要なときに必要な部数だけ」印刷する  
オンデマンド印刷をはじめ、Web制作、  
CD-R、電子出版など、マルチメディア  
対応型のアンテナショップ

〒305-0003 茨城県つくば市桜2丁目53-3  
Tel.029-850-6200 Fax.029-850-6601  
ds@isebu.co.jp  
営業時間:10:00~19:00

 **ISEBU**  
株式会社 **イセブ**  
www.isebu.co.jp/

# Digital

デジタル・コミュニケーション・ワークフロー



私たちイセブは、筑波研究学園都市を中心とする  
地域で培ったお客様との信頼関係を礎に、お客様  
一人ひとりに最適な印刷ソリューションのご提案を  
めざしています。高品位な学術書・論文集等にすぐれ  
た編集ワークとクリエイティブなビジュアル提案が  
可能なデザインワークを特長とする制作部門に、  
フルデジタル化によるワークフローを構築。完成し  
たデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに  
刷版出力することで、印刷・製本工程とあわせて迅速  
な生産体制を確立し、高品質の印刷物をスピーディ  
かつ低価格でご提供しています。

多様化する印刷・出版ニーズに  
優れた瞬発力でお応えします



## 最新鋭の設備が約束する 確かな印刷技術革新

プリプレス&プレス・ワークフロー

私たちイセブでは、最新鋭の印刷設備をライン  
ナップし、幅広い商品ニーズに高品質・短納期・  
低コストでお応えしています。二〇〇三年には  
ハイデルベルグ社製のスピードマスターを導入。  
最先端のデジタル制御技術と卓越したオペレータ  
による厳しいチェック体制が、つねにハイグレイ  
ドな印刷品質をお約束します。また、個人ユーザー  
による自分史や詩歌集、学術論文など、モノクロを  
主体とする小ロットの印刷媒体には、デジタル  
データから直接印刷するオンデマンド印刷や紙版  
CTPでフレキシブルに対応しています。



## Products



新刊

Encyclopedia, Genera of Freshwater Algae

# 淡水藻類

## 淡水産藻類属総覧

山岸 高旺 著 B5判上製・総頁1444頁・定価52,500円(本体50,000円)

本書は淡水における藻類、約1500属を収録した淡水藻類の属の総覧である。配列は淡水藻類を12分類群に分ける Bourrelly の分類系を採った。これに加え異名とされるもの、関連するものをさらに約800属所収する。60年に及ぶ著者の淡水藻研究の集大成として、淡水藻類の全体像に迫る大著である。

本文は、それぞれの分類群の「細胞・藻体」「生殖・生活史」「分類・分類表」を示した後、それぞれの属の記載が中心となり、線画による基本的な図版を示しながら、属の分類基準とされる形態形質、生殖形質、生育状況を述べる。また類似属との関係や産状など特記事項も詳細に記す。学名総索引をはじめ、和文、欧文の事項索引、また属名のカナ読み索引を付した。

はじめに／凡例／淡水藻類 序 (01) 藍藻類 Cyanophyceae (01付) 灰青藻類 Glaucophyceae (02) 紅藻類 Rhodophyceae (03) 黄色鞭毛藻類 Chrysophyceae (04) 黄緑色藻類 Xanthophyceae (05) 珪藻類 Bacillariophyceae (06) 褐色鞭毛藻類 Cryptophyceae (07) 渦鞭毛藻類 Dinophyceae (08) 緑色鞭毛藻類 Chloromonadophyceae (09) 褐藻類 Phaeophyceae (10) 緑虫藻類 Euglenophyceae (11) 緑藻類 Chlorophyceae (12) 車軸藻類 Charophyceae 学名総索引／属名カナ読み索引／和文事項索引／欧文事項索引

# 小林 弘 珪藻図鑑

*H.Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy*

小林 弘 出井雅彦・真山茂樹 著 B5判上製・総頁596頁・定価35,700円  
南雲 保・長田敬五

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめとし、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

【内容目目】 凡例／新分類群・新組み合わせ・新用語／収録分類群一覧／珪藻の殻構造と用語／珪藻用語対照表／珪藻分類体系／和文解説／欧文解説と図版／属の学名 - 和名対照表／引用文献／学名索引

# 淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DA<sub>lpo</sub>, pH 耐性能

渡辺 仁治 編著 浅井一視・大塚泰介 著 B5判上製・総頁784頁・定価34,650円  
辻 彰洋・伯耆晶子

日本のみならず世界各地から約1500のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約1000種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

総論 珪藻研究の歴史／環境指標としての珪藻群集／湖沼、河川共通の水質汚濁指数 DA<sub>lpo</sub>／珪藻の生活様式／試料の採集／試料の処理と検鏡／形態(種の同定に関わる特性要素) 写真編 I 中心目(Centrales)の分類 II 羽状目(Pennales)の分類 II A 無縦溝亜目(Araphidineae)の分類 II A ディアトマ科(Diatomaceae) II B 有縦溝亜目(Raphidineae)の分類 II B<sub>1</sub> ユーノチア科(Eunotiaceae) II B<sub>2</sub> アクナンテス科(Achnantheaceae) II B<sub>3</sub> ナビクラ科(Naviculaceae) II B<sub>4</sub> エピテミア科(Epithemiaceae) II B<sub>4</sub> ニチア科(Nitzschaceae) II B<sub>5</sub> スリレラ科(Surirellaceae) 学名総索引 事項索引

表示の価格は税込定価(本体価格+5%)です。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-34-3 内田老鶴圃  
TEL.03-3945-6781 FAX.03-3945-6782

---

## 学 会 出 版 物

---

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

### 1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円，非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

### 2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

### 3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 版，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

### 4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 版，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

### 5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 版，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

---

2007 年 11 月 5 日印刷

2007 年 11 月 10 日発行

© 2007 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

編集兼発行者

北山太樹

〒 305-0005 つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館植物研究部

Tel 029-853-8975

Fax 029-853-8401

E-mail kitayama@kahaku.go.jp

禁 転 載  
不 許 複 製

印 刷 所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

Printed by Isebu Inc.

発 行 所

日本藻類学会

〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学内海域環境教育研究センター

Tel & Fax 078-803-5781

## 藻類



The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第55巻 第3号 2007年11月10日

## 目次

日本藻類学会第32回大会のお知らせ

藻のグラフィックアート 日本の寒海性コンブ類 (解説: 川嶋昭二)

上出貴士・山内 信・高橋芳明 和歌山県田辺湾内之ノ浦のコアマモ *Zostera japonica* Ascherson et Graebner  
 群落と底質環境の関係 . . . . . 159

総説・解説

四ツ倉典滋: 日本産寒海性コンブ科植物の学名について . . . . . 167

藻場の景観模式図

寺脇利信・新井章吾: 25. 神奈川県横須賀市笠島地先の砂泥底に設置された単体ブロック . . . . . 173

藻類学最前線 (ワークショップB)

上井進也: ミトコンドリアマーカによる日本産褐藻アカモク集団における遺伝的・系統地理的  
 構造の解析 . . . . . 177

田辺雄彦: 有毒アオコを形成するラン藻 *Microcystis aeruginosa* の集団遺伝学~遺伝子の変異パ  
 ターンから何が読み取れるか? . . . . . 181

長井 敏: 日本沿岸域におけるラフィド藻 *Heterosigma akashiwo* の個体群構造の解明 . . . . . 187

藻類学最前線

矢吹彬憲・松本拓也: クリプト藻類・ハプト藻類間の姉妹群関係とクロムアルベオラータ仮説 . . . 192

中庭正人: 茨城県沿岸域の海藻相 . . . . . 195

新村 巖・田中敏博: 鹿児島県の有用藻類 I. 緑藻綱 . . . . . 199

渡邊 信・笠井文絵・熊野 茂・吉田忠生・千原光雄: 藻類のレッドリストの見直しについて . . . . . 203

熊野 茂・新井章吾・大谷修司・香村真徳・笠井文絵・佐藤裕司・洲澤 譲・田中次郎・千原光雄・中村  
 武・長谷井稔・比嘉 敦・吉崎 誠・吉田忠生・渡邊 信: 環境省「絶滅のおそれのある種のリ  
 スト」(RL) 2007年度版(植物II・藻類・淡水産紅藻)について . . . . . 207

民俗藻類学の旅

濱田 仁: 和布刈神事(めかりしんじ) . . . . . 218

博物館と藻類

北山太樹: 日本の海藻展示 一国立科学博物館の場合一 . . . . . 223

植木知佳: 第4回ヨーロッパ藻類学会国際大会参加記 . . . . . 224

神川龍馬: 第3回日本進化原生生物学研究会に参加して . . . . . 225

英文誌(Phycological Research) 55巻1・2号掲載論文和文要旨 . . . . . 227

書評・新刊紹介

横浜康継: 日本海草図譜(大場達之・宮田昌彦著) . . . . . 233

編集部: 里湖モク採り物語—50年前の水面下の世界(平塚純一・山室真澄・石飛 裕著) . . . 234

会員のページ . . . . . 235

学会録事・会員異動・入会案内他 . . . . . 236